

# Medical Technology News

## 臨床検査室新聞

### 貧血の原因と検査

貧血とは、血液中のヘモグロビンと呼ばれる蛋白質の量が少なくなった状態をいいます。

ヘモグロビンは赤血球の中に存在し、肺で酸素を受け取って体中に運搬する役目をします。しかし、貧血になると、体中の酸素が欠乏し、めまいや頭痛、動悸、倦怠感、息切れ等、さまざまな症状が現れます。心臓はこのとき少しでも多く酸素を供給しようと心拍数や心拍出量を増やすため負担がかかります。

貧血の一番多い原因はヘモグロビンの原料となる鉄分の不足によるものです。貧血患者さんの約七割が鉄分の不足によるものといわれています。

## LOOK



### アミラーゼアインザイム

アミラーゼは主に膵臓細胞、唾液腺細胞から分泌されており、P型(膵由来)とS型(唾液腺由来)の2つのアインザイムに分けられます。

アミラーゼ値の異常を認めた場合、そのアインザイムを測定する事により、原因臓器の特定ができます。検査方法は電気泳動法で、当院では外注検査になります。

#### 《基準値》

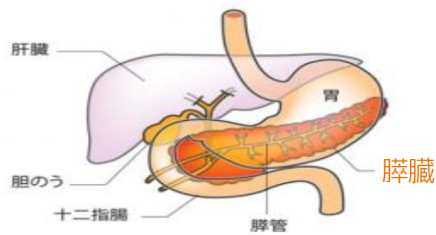
血清アミラーゼ  
P型:15.7~64.0%  
S型:36.0~84.3%

#### 《異常値を示す病態・疾患》

P型上昇:急性膵炎、慢性膵炎再燃期など

S型上昇:急性耳下腺炎、手術後、糖尿病、肺疾患、悪性腫瘍(卵巣癌、肺癌、骨髄腫)、肝障害など

その他:マクロアミラーゼ(免疫グロブリンなど結合)



その他の原因として、赤血球が脾臓内で貪食細胞に過剰に食べられる、血管内で壊れる、多量の出血や持続的な出血によるものなどがあります。また、赤血球の元になる細胞は骨の中にある骨髄(こつすい)という組織で作られますが、加齢や薬剤による影響、あるいは再生不良性貧血などの疾患で、骨髄の産生能力が低下する場合もあります。

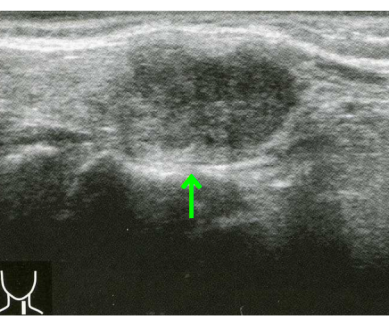
このように、貧血の原因は様々ですが、貧血検査のほとんどは採血検査で可能です。しかし、的確な治療を行うためには骨髄から細胞を採取し顕微鏡で調べる検査や染色体検査を行ったり、超音波検査、内視鏡検査なども行うことがあります。

甲状腺の検診などで見つかる結節(腫瘍)の割合は20~30%と高いですが、その多くは濾胞腺腫や腺腫様甲状腺腫などの良性腫瘍で、悪性腫瘍は数%です。甲状腺の悪性腫瘍には乳頭癌や濾胞腺癌、髄様癌、悪性リンパ腫などがあり、このうち約90%が乳頭癌になります。

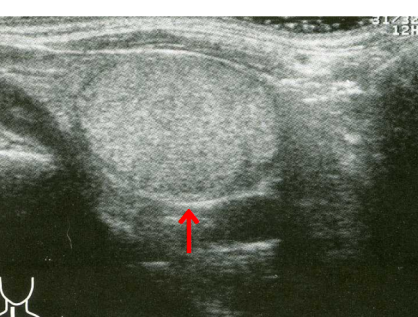


### 甲状腺の結節(腫瘍)について

甲状腺悪性腫瘍は男性に比べ女性に多く見られ、50歳代に発症のピークがあります。症状は大きさが小さいとほとんど無症状ですが、甲状腺に隣接する頸部食道が圧迫されると食べ物が呑み込みずらくなったり、反回神経に浸潤するとかすれた声になります。



悪性腫瘍(乳頭癌)の超音波像(↑印)  
\*結節の表面: 不整、内部: 不均一

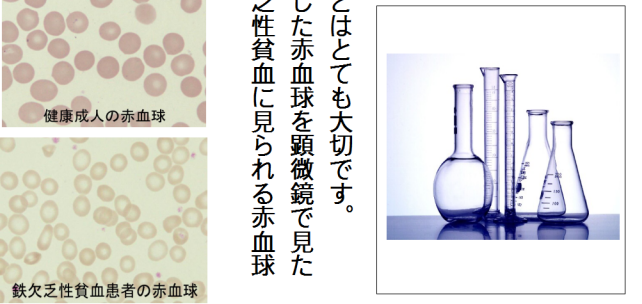


良性腫瘍(濾胞腺腫)の超音波像(↑印)  
\*結節の表面: 整、内部: 均一

**編集後記**  
このところ曇りの日が続いていますが、晴れた日は夜空をちよっと見上げてみませんか。  
夏の夜空には、天の川や夏の三角(織姫・彦星・デネブ)が見えます。♪見上げてごらん夜の星を♪と歌いながら星を見るのもなかなかいいですよ。



2015年 7月 第59号  
発行元 八雲総合病院 臨床検査室



### ほっと time

☆人気の花・花言葉ランキング

1位	バラ	あなたを愛しています
2位	コスモス	乙女の心
3位	チューリップ	永遠の愛
4位	桜	心の美しさ
5位	紫陽花	移り気

(ネット:花言葉ラボより)

### 検査の基本

#### 甲状腺

甲状腺は、甲状軟骨(のどぼとけ)の下にある蝶ネクタイのような形をした臓器で、新陳代謝や成長促進などに関係するホルモン(サイロキシンとトリヨードサイロニン)を分泌します。

甲状腺ホルモンが過剰に分泌されるバセドウ病やホルモン分泌が低下する橋本病などが主な疾患です。